

## 国際協力研究連絡会第1回発表会をオンライン開催

## 国際協力研究連絡会

(世話人：石原正仁・岡垣晶・日下博幸・小林遼平\*  
齊藤和雄・服部充宏\*・林泰一  
山地萌果\*・山中大学・余田成男)

日本気象学会2021年度春季大会において、専門分科会「気象分野における途上国支援・協力の現状と将来展望」が開催された。同分科会では、技術協力プロジェクト・無償資金協力などを実施している国際協力機構(JICA)、世界気象機関(WMO)やJICAとの連携で様々な気象関係の技術支援を実施している気象庁や関連法人、科学技術振興機構(JST)・日本学術振興会(JSPS)による国際研究協力プロジェクト、海外からの留学生を受け入れている大学や研究機関など、各方面の関係者から国際協力の現状や課題について発表が行われ、総合討論では今後の国際協力のあり方が議論された。その結果、この分野の関係者の間で経験・情報・課題・計画等を共有するための情報・意見交換の場として連絡会を設けることが提案され、2021年12月に日本気象学会内に「国際協力研究連絡会」が設置された(<https://www.metsoc.jp/2021/12/03/27767>)。本連絡会の最初の活動として、第1回発表会を2022年5月20日18時からオンライン開催し、以下のような発表と情報共有が行われた。

## 1. JICAの気象関連プロジェクトの現状

築添 恵 (JICA)

JICAの組織概要や取り組み(技術協力、無償資金協力、円借款、ボランティア事業、民間連携事業、国際緊急援助等)、及び気象分野の協力概要や具体的な事例(フィリピンでの包括的な協力、大洋州地域への協力、地球規模課題対応国際科学技術協力)に関して

紹介した。

## 2. JICA2021年度実施「全世界気象業務・インフラに関する情報収集・確認調査」成果報告

信太郎之(気象業務支援センター)

JICAからの受託業務として気象業務支援センター・日本気象協会・オリエンタルコンサルタンツグローバルが実施した本調査では、今後我が国による気象分野での協力ニーズが想定されるアジア・太平洋13か国を対象に、国家気象機関の組織体制、業務実施能力、気象観測機器・予報解析システム・情報通信システム等の気象業務に係るインフラの導入状況等や他のドナーの気象分野における援助・協力等に関して、既存資料、公開情報、アンケート及びビデオ会議により情報収集を行った。これを基に、国家気象機関の発展の度合いに応じた目指すべき中長期(5~10年程度)の具体的な目標像及びその実現に向けたJICAの今後の気象分野における協力量針や支援内容の分析・提言を行った。

また、気象分野における国際動向として、WMOが採択した国家気象水文機関の役割、WMO戦略計画及びアジア・太平洋地区の優先事項、国家気象機関に期待される持続可能な開発目標(SDGs)や国際的な防災の取り組み指針である仙台防災枠組への貢献、インパクトベースの気象予報、先進国の国家気象機関、WMO及び世界銀行が途上国を対象に実施しているプロジェクトについても調査した。

本調査の最終報告書はJICA図書館(<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000047738.html> 2023.3.21閲覧)で公開されている。

\* 事務局

© 2023 日本気象学会

### 3. ベトナム気象水文庁職員の JSPS 論文博士スカラシップへの応募について

齊藤和雄（気象業務支援センター）

国際協力研究における人材育成には様々なルートがあるが、その一つに JSPS による「論文博士号取得希望者に対する支援事業」（<https://www.jsps.go.jp/j-ronpaku/> 2023.3.21閲覧）がある。ODA 対象国の45歳未満の研究者等を対象として、日本の大学がホストとなり論文博士号の取得を目指す制度である。筆者は2018年から気象業務支援センター国際事業部において JICA 有償勘定技術支援「ベトナム国気象予測及び洪水早期警報システム運営能力強化プロジェクト」に参加しており、カウンターパートであるベトナム気象水文庁の数値予報リモートセンシング課長から、同課の若手職員を JSPS 論博スカラシップに応募させたなどの相談を受け、ホスト機関の大学と調整を行った。この事業には毎年数十件の応募があり、1/3程度が採択されている。令和4年度（2022年度）論博研究者の採用者一覧は上記 JSPS の支援事業 HP に公開されている。東京大学工学系研究科をホスト機関としてアンサンブル予測に関わるベトナム気象水文庁職員の応募が採択され、令和4年度から3年間の研究がスタートしている。

### 4. その他

国際協力研究連絡会の WEB サイトを準備した。現状は日本気象学会の Google アカウントにてログインした状態の方のみ閲覧可能としている。閲覧の手順は次のとおりである。

<https://accounts.google.com/login>

へアクセスし、日本気象学会に登録している Google アカウントとパスワードを入力する（日本気象学会の Google アカウントでログインしている状態にする）。

次に、

<https://sites.google.com/metsoc.or.jp/international-cooperation/>

にアクセスすると本連絡会の Web サイトが開く。

Web サイトにおける情報の公開範囲については、今後世話人で相談して決定する。

現在の本連絡会への登録メンバーは25名程度である。メンバー登録した方へはメーリングリストを通じて本連絡会事務局から随時お知らせを通知している。これまでメンバー登録を希望される方は世話人への直接連絡、または本連絡会発表会時の参加フォームにて登録を行っていた。今後本連絡会の WEB サイトから参加申し込みフォームへ移動できるように整備することを検討している。